



青島の風

青島日本人学校だより
平成30年10月9日
校長 金森 孝子

学びの広場

国慶節が終わり、2学期の後半が始まりました。先月の運動会では、多くの皆様にご参加とご協力いただき、ありがとうございました。改めて、皆様に支えられての青島日本人学校という思いを強くいたしました。アンケート等でいただいたご意見を、今後に生かしてまいります。



さて、青島日本人学校の玄関の入り口や階段の踊り場には、大きな掲示板があります。児童生徒の作品、学習の成果物、行事に関するもの等が掲示され、月ごとに掲示されるものが替わります。「丁寧に時間をかけて完成した作品だな」「〇〇さんは、こんな考えや思いをもっているのだな」としきりに感心したり、子どもの別の面を発見したりと、掲示されたものを見ることを、とても楽しみにしています。また、何気なく足を止めて、見入っている子どもがいて、とても嬉しい気持ちになります。作品に対する憧れ、共感、自分との比較、そして親しみなど、感性を働かせながら、それぞれの視点をもって鑑賞しているのでしょうか。わずか1～2メートルの平面ですが、一つ一つの作品や成果物から読み取れる思考や表現は多様です。「学びの広場」というネーミングがついていますが、まさに学びの結晶の空間です。



本校では、「掲示教育」として、計画的に環境づくりを行い、教育効果を高めています。自分とは異なる学年の学習内容や表現方法を知り、学習に対する興味・関心を高めていくばかりでなく、児童生徒同士の理解にもつながっていきます。御来校の際に、じっくりとご覧いただけるとう幸いです。

この度、本校の事務・通訳・通学バス等を担当していた、職員 崔維兰が、9月で退職いたしました。2年間半、学校事務や、安全なバス登下校、行事での通訳など、澁刺と粘り強く業務にあたりました。29日最終日には、小学部収穫体験の引率にも出かけました。後任には、单千子 職員が、着任いたしました。

志があれば、事ができる。皆様、宜しくお願いいたします。



本校の道徳教育

道徳主任 西村拓也

新学習指導要領の実施に伴い、道徳が小学部では今年度より教科化、中学部では来年度より教科化します。「道徳科」では「考え、議論する」道徳授業の実現がより重視され、小学部では今年度から道徳の教科書が配当されています。小学部の教科書では、一つひとつの教材で道徳のどの価値について学ぶのかがより鮮明になっています。また、児童の考えや児童同士の議論をより日常生活と結びつけて考える工夫が教科書の随所に見られます。

青島日本人学校では、教師同士互いに道徳授業の公開を行い、児童生徒がより「考え、議論し、考えを深めていく」道徳教育を目指し、日々研鑽に取り組んでいます。10月24日(水)の道徳参観は、本校道徳教育の一端を公開するものです。当日は担任が道徳の授業を行います。また、2校時には、「特別な教科『道徳』と本校の授業での取組」について、校長が講演を行います。このような取組は本校独自のものであり、大変貴重な機会です。保護者の皆様には、平日の開催でご多用かとは存じますが、ぜひ、ご参加ください。

教室の窓

小5担任 西村拓也

小学部5年生の学級目標は、プライドをもち、夢に向かって、ハッスルハッスル！！高学年の仲間入りを本格的に果たし、高学年としての自覚をもち、夢に向かってハッスルしていこう、そんな思いをこめて決めた学級目標。ときにはけじめがなく叱られることもありますが、楽しくにぎやかな5年生。

先日、自分達の身の回りを振り返り、よりよくしていこうということで、班ごとに学級をよりよくするアイデアを出し合い、クラスみんなに提案しました。「学級文庫でみんなに読書に親しんでもらおう」「男女交互に並んでお昼を食べ、みんなでゲームをしよう」「言葉遣いをよくしよう」3つの提案を実行して、約半月。隙間時間に読書する児童が増えたり、男女一緒にみんなで会話して楽しく昼ご飯を食べたり、友達に対する言葉遣いが柔らかいものになったりと、自分達で自分達の暮らしをよりよいものにしていくことができます。運動会後に行った児童一人ひとりとの教育相談でも、3つの提案に手応えを感じている児童がたくさんいました。

5年生もこれから後半戦。6年生からバトンを引き継ぎ、学校のリーダーとして活動する機会が多くなります。目的を達成するためにはどうすればいいか、みんなで話し合いながら、自分達で決定、実行していくことをより大切にしていきます。



伝統太鼓の紹介

音楽担当 岡本直恵

青島日本人学校の伝統的な取組として和太鼓演奏があります。和太鼓は打てばすぐに響く楽器であり、誰でもがばちを使って腕だけで音を出すことができます。しかし、打ち方や構えなどから、一人ひとりが出す音色は全て違っており、そこに個性が出せるというおもしろさがあります。さらに、和太鼓には音色を聴かせるだけでなく、身体全体を使って演じる楽しさがあります。

小学6年生と中学生は、先月から和太鼓の練習が始まりました。仲間と呼吸を合わせて太鼓を演奏する楽しさを感じ、息の合った演奏をしたいという思いから、それぞれに技を磨くため、昼休みに音楽室へやってきて自主的に練習する姿が見られます。また、上級生が下級生を教える姿や、上級生のかっこよさにあこがれて練習に励む下級生の姿など、和太鼓の取組において素敵な場面をたくさん見ることができます。

小学4・5年生は「御神火太鼓（ごじんかだいこ）」、小学6年生は「秋色の空に」、中学部は「信州上田原合戦太鼓（しんしゅううえだはらかっせんだいこ）」を演奏します。和太鼓演奏は、学習発表会や交流会等で披露しますので、どうぞご期待ください。

